

事業評価票

9 10	ひきこもりサポートネット・若者社会参加応援事業 (青少年・治安対策本部／一般会計)	事業開始	平成 16 年度
		事業終期	平成 33 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか
<ul style="list-style-type: none"> ○ 若者のひきこもり状態の長期化は、本人や家族にとって精神的、経済的負担になるだけでなく、社会保障費の増大など社会的負担にもつながる懸念がある。 ○ 潜在化・長期化しがちなひきこもりの本人や家族をより迅速かつ適切な支援につなげるため、平成16年度から「東京都ひきこもりサポートネット」事業を開始し、現在、電話・電子メール及び訪問相談を受け付けている。 ○ また、23年度からは「若者社会参加応援事業」を実施し、NPO法人等のひきこもり支援の担い手を育成、サポートしてきた。
根拠法令等

2 どのように取り組み、どのような成果があったか
<ul style="list-style-type: none"> ○ ひきこもりサポートネットにおいて、年間約5,000件の相談に対応し、適切な支援につなげている。 ○ 平成26年度からの訪問相談の開始にあたり、区市町村を通じて受付を行うこととしたことを契機として、地域におけるひきこもり支援の窓口を整備することができた。 ○ 若者社会参加応援事業では、希望するNPO法人等に対して、ひきこもり支援のプログラムを提供してノウハウの習得を後押しするなど、技術的・財政的支援を行ってきた。その結果、都内でひきこもりの支援を行う17団体を「登録団体」（都が定める一定の基準を満たした支援事業を実施する団体）として選定した。

【財務局評価】

3 どのような課題や問題点があったか
<ul style="list-style-type: none"> ○ ひきこもりサポートネットにおいては、これまでの訪問相談等の実施を通じて、地域の実情も含めた多くのノウハウが蓄積されている。 ○ 一方、地域におけるひきこもり支援の推進にあたり、区市町村においては、実態把握の進捗状況などの実情は様々であり、登録団体には各区市町村の実情に応じた支援が求められている。 ○ このため、ひきこもりサポートネットが有する様々なノウハウを登録団体に引き継ぎ、区市町村の実態を踏まえたきめ細かい支援を提供していくことが重要である。

4 局として、事業をどうしていきたいか														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; border: 2px solid black;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他										
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他											
<ul style="list-style-type: none"> ○ ひきこもりサポートネットが持つノウハウを登録団体に還元できるよう、ひきこもりサポートネットと若者社会参加応援事業を統合し、ひきこもりサポートネットが登録団体の技術支援を担う仕組みに再構築する。 ○ 研究機関でもあるひきこもりサポートネット（学）と登録団体（民）、区市町村（官）が協力してひきこもり支援を担うことで、官・民・学が連携した地域でのひきこもり支援ネットワークを構築する。 														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="background-color: #e1f5fe; text-align: center; vertical-align: middle;">歳入</td> <td style="text-align: center;">27年度決算額</td> <td style="text-align: center;">10,000 千円</td> <td rowspan="3" style="background-color: #e1f5fe; text-align: center; vertical-align: middle;">歳出</td> <td style="text-align: center;">27年度決算額</td> <td style="text-align: center;">56,395 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">28年度予算額</td> <td style="text-align: center;">10,000 千円</td> <td style="text-align: center;">28年度予算額</td> <td style="text-align: center;">63,651 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">29年度見積額</td> <td style="text-align: center;">10,250 千円</td> <td style="text-align: center;">29年度見積額</td> <td style="text-align: center;">55,086 千円</td> </tr> </table>	歳入	27年度決算額	10,000 千円	歳出	27年度決算額	56,395 千円	28年度予算額	10,000 千円	28年度予算額	63,651 千円	29年度見積額	10,250 千円	29年度見積額	55,086 千円
歳入		27年度決算額	10,000 千円		歳出	27年度決算額	56,395 千円							
		28年度予算額	10,000 千円			28年度予算額	63,651 千円							
	29年度見積額	10,250 千円	29年度見積額	55,086 千円										

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの相談実績やNPO法人等への支援実績から、これまでも着実に事業を推進してきている。 ○ ひきこもり支援の実態は様々であり、取組を一層推進していくため、ひきこもりサポートネットで蓄積されているノウハウを登録団体に引き継ぐことは有用な取組であり、一体的に事業を実施していくことは妥当である。

6 29年度予算で、どのように対応したか						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; border: 2px solid black;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他			
○ 見積額のとおり計上する。						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e1f5fe;">歳入</td> <td style="text-align: center;">29年度予算額</td> <td style="text-align: center;">10,250 千円</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1f5fe;">歳出</td> <td style="text-align: center;">29年度予算額</td> <td style="text-align: center;">55,086 千円</td> </tr> </table>	歳入	29年度予算額	10,250 千円	歳出	29年度予算額	55,086 千円
歳入	29年度予算額	10,250 千円				
歳出	29年度予算額	55,086 千円				